

「原水爆禁止 2019 年世界大会」を開催されるにあたりメッセージをお送りいたします。

安芸高田市は、世界最初の被爆県広島に属する自治体として、生命の尊厳を深く認識し、非核三原則の堅持を願うとともに、一刻も早い核廃絶と世界の恒久平和を希求し 2005 年 3 月 7 日「非核平和都市宣言」をおこなっております。また、2008 年には「核兵器廃絶に向けての都市連携推進計画」に賛同する世界各国の都市で構成された団体であります「平和市長会議」へ加盟し、平和市長会議会長のもと他加盟都市と共に、核廃絶に向けこの地球上に再び被爆の惨禍を繰り返させてはならないことを全世界に強く訴え続けております。

被爆から時が経ち、被爆の記憶を伝承することと核兵器のない世界を一日も早く実現することが大きな課題となっております。戦争も核兵器もない平和な未来を子供たちに残すため、自治体・市民・被爆者の方々が共に集い、「核兵器のない平和で公正な世界」の実現に向けて、今後も一層共に取り組みを続けていくことが、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するものと確信するものであります。

最後に、「原水爆禁止 2019 年世界大会」のご成功と、ご参加の皆様のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げます。

安芸高田市長            浜 田   一   義